

祝

布目ダム管理30年を迎えて

この先もずっと地域に親しみ愛される「まほろば」ダムを目指して

関西の淀川水系木津川の支川（布目川）に位置する布目ダムは、奈良県奈良市に位置し、その流域は奈良市、天理市、宇陀市、山添村の3市1村にまたがる自然豊かな地域の中で、管理開始30年の節目を迎えました。



布目ダムが果たしてきた役割

(1) ダムの維持管理

ダムの目的を果たすため、陸上・水上の巡視によりダム、貯水池、貯水池周辺の状況を把握するとともに、定期的にダム本体・付属設備等の点検・調査を行い、必要に応じて修理・整備を行っています。また、DXの推進や中長期的な維持管理方針を定めた長寿命化計画の策定などにより、コスト削減を図りつつ、計画的な維持管理に努めています。

(2) 洪水調節の実績

平成4年の管理開始から今年度まで延べ27回の洪水調節を実施しました。平成23年からは、関係機関との調整を図り、洪水調節時に通常のダム操作よりもダムの放流量を抑え、ダムへの貯留量を増やす「特別防災操作」を実施しています。平成29年の台風21号では、管理開始以降最大の流入量となる210m³/sを記録しましたが、特別防災操作を実施し、ダムから下流6km地点の興ヶ原地点では、ダムがなかった場合の河川水位よりも約1.2m水位低減（推定値）させることができました。



に余剰分は電力会社へ売電することで管理費用の負担軽減にも役立っています。また、水力発電により、CO₂排出量の削減にも寄与しています。

(5) 貯水池水質の保全

貯水池水質保全のため、定期的な水上巡視や水質調査による監視に加え、貯留水の浅層部分を循環させる設備（浅層循環設備）を運用することにより植物プランクトンの増殖を抑制する、貯水池の水温や水質状況に応じてダムから取水する水深を調整するなどの対策を講じています。また、布目ダムの上流には、高さ約15mの副ダムが設置されており、副ダム内で流入水に含まれる栄養塩を沈殿させ、堆積した土砂を定期的に取り除くことによる水質の保全も図っています。これらの取り組みが相まって、近年の水質異常件数は減少しています。



(6) 地域との連携

布目湖は、ヘラブナやワカサギを中心として多くの釣り人に利用されているとともに、貯水池

(3) 用水の供給

管理開始以降、下流河川における流水の正常な機能の維持や水道用水の供給のための放流を継続しています。水道用水の水源として、奈良市全体の取水量のうち、布目川からの取水は約6割を占めており、布目ダムは奈良市の水がめになっているといえます。日々の貯水量、水質、降雨、ダムへの流入量、下流河川の状態を勘案しつつ、関係機関との連絡調整を経て、安定した水の供給に努めています。

(4) 発電

ダム下流に水力発電設備を設置しており、ダムからの放流水を利用して発電を行っています。発生電力量は、毎年約4,500MWh（直近10年平均）となっており、この電力は管理所で使用するとともに



祝

布目ダム管理開始30周年記念

管理開始30年を迎えたことを記念し、令和4年7月から1年間を目標として「30周年記念ダムカード」の配布を行っています。記念ダムカードの表面は、カードを見る角度によって絵柄が変わるレンチキュラー仕様を用いて、ダム建設前と現在のダムの様子の両方が楽しめるようになっています。

令和4年10月8日には「布目ダム30周年記念イベント」を開催し、関係者を含め多くの方々に来場していただきました。式典では、奈良市長（代理）、山添村長から30周年の祝辞を賜った後、一般参加者も交えて30周年を祝うくす玉開披も行いました。イベントとして、ダム堤体内部の案内、巡視船に乗って湖巡視体験などを行い、ダムへの理解を深めていただきました。

また、地元の方々による出店や奈良市観光協会と山添村のマスコットキャラクター「しまろくん」、「てんまるくん」も来場し、イベントを盛り上げてくれました。夜には、ダムの堤頂道路沿いに30周年文字入りの提灯を飾り、ダムのライトアップをするともに、山添村観光協会による竹灯籠の展示も行なわれました。



布目ダムの概要

① 洪水調節

布目川、木津川および淀川治水の一環として、ダム地点における計画流入量460m³/sのうち、310m³/sの洪水調節を行い150m³/sに低減した放流により、下流沿川の洪水被害を軽減します。

② 流水の正常な機能の維持

布目川の既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進を図るため、下流河川に必要な流量を確保します。

③ 新規利水

奈良県奈良市、山添村の水道用水として最大1.136m³/sを取水できるよう安定的に供給します。



日本最古の歴史書「古事記」に「倭は国のまほろばたなづく青垣 山籠れる倭し麗し」と唄われたこの奈良の地で、地域の皆様を始め、関係機関の多くの皆様のご協力を得て、管理開始から30周年を迎えることができました。改めて皆様へお礼申し上げます。

これまでの経験を活かして、布目ダムの使命である、洪水被害の軽減、河川環境の保全及び水道用水の供給の役割を果たせるよう適切な運営に努めていくとともに、地域に親しまれ末永く愛される布目ダムとなるよう、皆様のご理解とご協力を賜りながら、この先もずっと、「まほろば」が意味する「素晴らしい場所」「住みやすい場所」となり続けるため、よりよい施設管理を実施してまいります。

